野菜展望

5月
2025

【5月まとめ】

4月は上旬は気温の低い日が続いたが、中旬以降は適度な降雨もあり関東以西で夏日が続くなど比較的高温となる日が多かった。冬季の低温・乾燥により、生育不良や品質低下のみられた品目も多く、また、一部産地では降雹被害も確認され、出荷量が不安定な品目も一部見られた。よって入荷量は前年をわずかに下回る水準で推移した。販売環境としては入荷量の少なさも相まって、ばれいしょ、新たまねぎ、アスパラガスなどの春商材を中心に引合いが強かった。後続産地への切り替えが徐々に進む中、きゅうりなどの果菜類は前段産地の残量も多く、荷動きは鈍かった。きぬさやえんどうなどの豆類もそうした状況だったが、絶対量が少ないため比較的堅調な荷動きとなった。下旬からは大型連休前の商談が本格的に始まったが、現状足元の相場が比較的堅調なのと今後の増量を見据えジリジリ様子見の相場展開となっている。だいこんは2月の干ばつの影響から下等級品の発生が多く、不安定な入荷量となった。たけのこは入荷量減から4月初旬、前年の1.5～2倍の単価で取引されたが、入荷量の増加とともに前年並みの水準に戻りつつある。4月上旬の野菜kg単価は305円（前年比94%）、中旬は311円（同98%）と推移した。

5月はにんじん・ばれいしょ・玉ねぎを除く多くの品目で前年並みの入荷量を予想している。気象庁発表の1か月予報では5月第2週に東日本・西日本で高温予報となっており、この前後に瞬間的に入荷量が増える可能性がある。前年に比べて突出して入荷量が多くなる品目はないが、果菜類は前年と比較して101～103%程度の入荷量となる予想。ただし、キャベツ、ねぎ、なす以外の主要品目は平年単価を上回るもよう。特ににんじんは徳島県産の切り上がりが早く、後続の千葉産の遅れで端境が生じ現状高値の相場を維持するだろう。レタスは前年並みの出荷量を見込むが中旬ごろに茨城産終了し準高冷地産へ移行するため現状の単価からは大きく下がらない見込み。5月の野菜入荷量は平年を1割近く下回る予想。見通し単価287円（前年比92%）は平年をやや上回る。

5月主要品目産地別生育出荷情報及び単価見通し（全都扱い）

○強い　○#強保合　#保合　△#弱保合　△弱い　単位:円/kg,%
主産県:（　）内数字は前年の全都入荷量構成比　出荷現状:A…出荷開始、B…最盛期、C…末期
（状況は2025年4月20日現在）

本資料の無断転載はご遠慮下さい。
記載内容の文責は営業管理部業務2課
（電話番号:03-5492-2041）

だいこん

前月上中旬	下旬見込み	上　旬	中　旬	下　旬	見通し単価	前年比
117	115	○#	△#	#	120	87%
販　売 見通し	千葉産中心の入荷。干ばつの影響で播種が遅れており、中旬以降の増加を見込む。露地物は前年より1割多い作付が見込まれ、中旬以降は単価が下がる見通し。予想入荷量は前年並みで平年をやや下回る。					

主産県	産地名	出荷現況	作　柄　状　況
千葉 (79%)	ちば みどり （アグリタウン）	B	大規模農家で取り遅れが多く、10日過ぎくらいまでは太物が多く出てきそう。現状乾燥による病気が多いが、2月中旬以降の播種分は雨をもらっており徐々に回復するだろう。5月は前年並みの出荷量となる見込み。

にんじん

前月上中旬	下旬見込み	上　旬	中　旬	下　旬	見通し単価	前年比
289	275	#	#	△#	250	114%
販　売 見通し	徳島・千葉産中心の入荷。徳島と千葉との端境が続き、現状の相場を維持しながら推移する見込み。昨年に比べると相場は強め。予想入荷量は前年をやや下回り、平年を1割以上下回る。					

主産県	産地名	出荷現況	作　柄　状　況
徳島 (55%)	徳島県 （栄）	BC	4月末時点で進捗は6割程度で例年通り。M中心での出方となっている。5月上旬が数量のピークで、その後は切り上がる生産者もおり、肥大も進むので箱数が減ってくる。切り上がりは例年より若干早めか。
千葉 (28%)	ちばみどり（アグリタウン）	A	L、2Lの足元相場を見つつ、大型連休前後に初出荷となる。初期出荷分は一週間程度の遅れがあるが、その後は追いついてくる見込み。

はくさい

前月上中旬	下旬見込み	上　旬	中　旬	下　旬	見通し単価	前年比
107	103	△#	#	#	100	98%
販　売 見通し	茨城産中心の入荷。上旬は気温上昇し、茨城県産が出荷ピークで相場は下げ。中旬以降は長野・群馬産などへの産地切り替えとなり全体的な入荷量は横ばいで保合いとなる見通し。予想入荷量は前年・平年並み。					

主産県	産地名	出荷現況	作　柄　状　況
茨城 (91%)	北つくば （結城）	BC	当初2月の干ばつで小玉だったが、現状は玉の大きさも問題ない。これから大型連休にかけ数量増加しピークを迎える。その後中～下旬ごろに出荷量は落ち着くだろう。取り遅れないように出荷したい。

キャベツ

前月上中旬	下旬見込み	上　旬	中　旬	下　旬	見通し単価	前年比
122	120	#	△#	△#	110	65%
販　売 見通し	千葉などの関東産・愛知産中心の出回り。大型連休前後は各産地作付けは多くない見込み。中旬から千葉・愛知産が増加しピークを迎え相場は下げの展開が予想される。予想入荷量は前年並み、平年を1割下回る。					

主産県	産地名	出荷現況	作　柄　状　況
千葉 (43%)	ちば みどり （アグリタウン）	B	現状病気が多く、出荷量は比較的少ない。定植遅れもあり、5月以降、20日くらいまでは春キャベツの残量は多い見込み。6月上旬までは増量が続き、平年よりも多いペースとなろう。
神奈川 (19%)	三浦市	BC	前年は大型連休前後に相場が高かったため、今年は寒玉や中早生品種の作付が増えている。よって5月は数量は出てくるが、日量50,000ケースほどの出荷ペースが中旬くらいまで続きそう。

ほうれんそう

前月上中旬	下旬見込み	上　旬	中　旬	下　旬	見通し単価	前年比
526	490	#	△#	#	480	95%
販　売 見通し	群馬・茨城産中心の入荷。4月下旬にかけて相場が下落し、その単価のスライドで大型連休に突入。連休明けると夏秋産地が本格的にスタートし、秋冬の残りと出荷が重なりそこでもう一段下落。その単価のまま下旬に。ただ今年は夏秋のスタートも産地によりばらつきがある見込みで、平年の連休明けのように急激な下げ展開にはならないだろう。予想入荷量は前年並み、平年をわずかに下回る。					

主産県	産地名	出荷現況	作　柄　状　況
群馬 (46%)	利根沼田 ほか	B	生育は概ね順調。数量はやや多かった前年並みで平年をやや上回る予想。
茨城 (36%)	茨城旭村 ほか	BC	問題なく生育順調。数量は前年・平年並み。

ねぎ

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
469	420	○#	△#	#	420	101%

販売見通し	茨城・千葉中心の入荷。全般的に春ねぎは遅れ、初夏ねぎの作柄は良好。上旬は端境期に入り相場上げ、中旬から茨城産ピークに入り相場下げの展開となる見込み。予想入荷量は前年・平年並み。

主産県	産地名	出荷現況	作柄状況
茨城(56%)	岩井	B	生育は順調。1～2月の低温干ばつで現在はやや細めだが、最近の雨と気温の上昇で大型連休明けにはL中心となるだろう。5月下旬～7月上旬に最盛期を迎え、5月総体としては前年よりも微増を見込む。
千葉(21%)	ちばみどり(そうさ)	B	4/25現在「プレミアムねぎ」の生育は順調。春ねぎの切り上がりは平年並みの見込み。品質は折れや曲がりが少なく良好。連休明けから増量するだろう。

レタス

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
171	140	#	○#	△#	140	99%

販売見通し	群馬・長野・茨城産中心の出回り。各産地生育順調で多かった前年並みの出荷となる見込み。中旬は茨城産終了により全体量が減って相場は上げ。下旬になると長野産の増量で相場は下げとなる見通し。予想入荷量は前年並み、平年を1割近く上回る。

主産県	産地名	出荷現況	作柄状況
群馬(37%)	利根沼田	AB	今年は雪解けが遅く、また4月も寒かったため山手側の作が若干遅れたが、徐々に生育は追いついてきている。適度な降雨もあるため現状は生育順調で5月は前年並みの出荷量が期待できる。
長野(33%)	洗馬	AB	4月下旬から出荷開始となった。3月中旬辺りは低温に見舞われたが、4月中旬に暖かくなり、例年通りの出荷に至っている。4月末に気温が下がる予報なので霜の影響が懸念されるも、現状では5月の数量は平年並みを予想。5月に漸増して中下旬に本格化、6月後半から漸減して春作が切り上がり、8～9月に秋作が増える流れ。

きゅうり

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
333	290	△#	#	○#	270	88%

販売見通し	埼玉・群馬産中心の入荷。大型連休中に相場の底となるが、販売を強めた反動や東北産への切り替えなどから下旬にかけて徐々に単価は持ち直す見込み。予想入荷量は前年・平年並み。

主産県	産地名	出荷現況	作柄状況
群馬(26%)	邑楽館林	B	現状夜温が上がっており、出荷最盛期を迎えている。下等級品も増えつつあり、5月は潤沢な出荷量が期待できるが、30度を超える日が続くと樹勢への影響が懸念される。
埼玉(26%)	ふかや(北部)	B	若干生育が遅れていたが、5月には取り戻す見込み。4月下旬～5月上旬にかけて出荷量は増え、中旬は落ち着き、下旬にピークを迎える。出荷量としては平年並みの見込み。
宮城(6%)	みやぎ登米	B	低温と日照不足の影響で、若干生育に遅れがある。連休明けから無加温の出荷が本格化し、5月中は徐々に出荷量は増える。出荷量としては微減を見込んでいる。ピークは6月中だろう。

なす類

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
427	400	○#	△#	△#	380	89%

販売見通し	高知・福岡・群馬産中心の入荷。昨年よりも緩やかなピークが4月中に来ている。そのため5月は売り込みが効くタイミングとピークの反動で大型連休前後の相場は若干は盛り上がる。しかし、その勢いは瞬間的で中下旬で販売は苦戦し、相場は下落を続ける見込み。予想入荷量は前年並み、平年をわずかに下回る。

主産県	産地名	出荷現況	作柄状況
高知(44%)	高知県	B	現状花数は多いが、収穫量は少ない。ただ肥大のスピードは早く、大型連休頃に最後のピークを迎える見込み。以降はしばらく横ばいの出荷量が続き、月末ごろに漸減するだろう。5月は前年よりは多く、平年並みの出荷量を見込む。
群馬(13%)	にったみどり	B	4月前半時点では生育遅れがみられたが、朝晩の気温の安定で平年並みの出荷ペースとなっている。大型連休ごろに最初のピークを迎える見込みで、作付は若干減ってはいるものの、5月は平年並みの出荷量を見込む。

トマト

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
437	400	#	△#	#	350	90%

販売見通し	熊本・栃木・愛知産中心の入荷。各産地前年に比べ順調な生育。中旬は無加温作の出荷開始により入荷量は増加。下旬には夏秋作の早出しの入荷によりさらに増量する見込み。予想入荷量は前年並み、平年を1割以上下回る。

主産県	産地名	出荷現況	作柄状況
熊本(26%)	八代地域	C	4月上旬までは気温が低かったこともあり樹勢はおおむね良好、着色も進んでいる。LMS各25%ほどの玉流れは大きくは変わらず、ややLMが増えるか。作付が減っていることから大きなピークは無く、大型連休明けまではダラダラとした出荷量が続きそう。
	玉名	B	4月の後半から5月の中旬にかけては現状の出荷ペースが続き、下旬から潤沢な出荷量となる。徐々に小玉化の流れとなり、5月中旬にかけて緩やかなピークとなる。5月出荷量は平年並みを見込む。
栃木(25%)	うつのみや	B	現状黄化病等の病気は軽微で収穫遅れの軟化玉がやや多いこと以外、生育は順調。ただ前年出荷量は下回る見込みで、5月は大きなピークは無さそう。

ピーマン

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
626	600	△#	△#	#	550	91%

販売見通し	茨城・宮崎・高知産中心の出回り。前年は曇天の影響で数量少なかったものの、本年は天候よく前年より出荷は増加していく見込み。予想入荷量は前年をやや上回り、平年並み。

主産県	産地名	出荷現況	作柄状況
茨城(67%)	なめがたしおさいほか	B	促成・半促成の出荷が続き、下旬にかけ多くなる。曇天で若干の花落ちや病気も散見されるが、大きな影響は無く出荷量は前年・平年並みを見込む。
宮崎(15%)	みやざき	BC	昨夏の猛暑の影響で引続き収量は若干少ない。5月出荷量は大きなヤマは無く、横ばい～微増で推移する見込み。

ばれいしょ類

前月上中旬	下旬見込み	上　旬	中　旬	下　旬	見通し単価	前年比
284	380	△	#	#	260	110%
販　売 見通し	九州産は2月の降雪・霜害の影響を受け玉付き悪く減収見込みのため、全体量は少ない。ただ、大型連休前後に出荷が重なる見込みで、価格を下げつつの販売となる。特売需要があり、ある程度の引合いはあるだろう。予想入荷量は前年を1割下回り、平年を2割以上下回る。					

主産県	産地名	出荷現況	作　柄　状　況
長崎 (56%)	島原雲仙 (加津佐・愛野)	AB	本年度計画は 1,045ha、約 29,000t。2月の降雪、霜害の影響で平年に比べ 1 ～ 2 週間出荷が遅れている。4 月下旬より出荷開始で、5 月の大型連休にピークを迎える見込み。サイズはL中心。
静岡 (6%)	とぴあ浜松	A	本年度計画は約 4,300t。生育は順調だが、5 月は高温多雨の予報が出ており、昨年はこの影響で減収となったため注意が必要。

たまねぎ

前月上中旬	下旬見込み	上　旬	中　旬	下　旬	見通し単価	前年比
158	180	△#	#	○#	140	114%
販　売 見通し	佐賀・北海道産中心の出回り。大型連休中の商談が高値提示のため、連休明けからは高悩みする。中旬は中だるみのまま進むが下旬に数量減で荷動きは良くなる見通し。佐賀産の生育不良（一部雹害あり）、兵庫産の生育遅れで全体の入荷量は少ない見込み。予想入荷量は前年を1割下回り、平年を1割以上下回る。					

主産県	産地名	出荷現況	作　柄　状　況
佐賀 (59%)	さが (白石)	B	初期生育の低温干ばつで 1 週間～ 10 日の遅れが出ているため、現在出荷量は少ない。5 月連休明けは数量回復も、11 日週の出荷分からは雹害を受けた作型に切り替わるため出回りは落ち込み、総体としては前年の 8 割の出荷予想。
兵庫 (9%)	あわじ島	A	初期の低温干ばつを受けて生育は 1 週間程度遅れている。そのため現在小玉傾向にあるが、今後の天候次第で肥大は伸びるだろう。

その他の野菜

品目	県名	産地	生育・出荷情報
セルリー	長野	信州諏訪	作付面積は前年比 98%、生産者は 2 名減。5/9 からハウス物の出荷が始まり、6 月いっぱいは続く見込み。作柄は良好で、サイズは 2L 中心。露地物の出荷は平年より遅く 7 月上旬となる見込み。
アスパラガス	栃木	なすの (湯津上)	出荷ピークは超えている。ピーク時は日量 1,800 ケース。今後は昨年と同様に 5 月末まで減少していく見込み。L 中心で推移していく。新選果場の稼働率も良く、生産者の意欲も上がっている。
ブロッコリー	埼玉	埼玉岡部	生育遅れがあったが、足元の陽気で生育が進み一気に出たため 4 月第 4 週にはピークを迎えた。月末にはピークを越えたが 5 月上旬までは十分な数量がある見込み。5 月中旬には切り上がりに向け減少する例年通りの流れ。5 月の数量は平年並みの予想。
南瓜	輸入	メキシコ	5/10 前後から入荷の見込み。作付面積は横ばいで作柄は良好。しかし、日本向けの出荷は為替の影響を受け各輸入商社が仕入に消極的となっており、減少となる見込み。
	鹿児島	そお 鹿児島	1 ～ 2 月が例年よりも気温が低く推移したことで定植が遅れており、また 3 月の曇天の影響を受け、生育は 10 日程度遅れている。サイズは 5･6 玉中心。本格的な出荷は 5 月中旬頃になる見込み。
ゴーヤ	沖縄	おきなわ	今年の冬は寒さが厳しく、その影響で数量が少ない状態が続いている。5/8 の「ゴーヤの日」に向けて出荷のピークを迎えるが、出荷量は依然として少なく、作柄も良くない見込み。
らっきょう	鳥取	鳥取中央	5/22 前後から販売開始。2 月の低温の影響で、生育は遅れている。出荷量は収穫が始まっていないため、不明な状況。階級は M 中心での出荷を見込んでいる。
	鹿児島	南さつま (加世田)	4/21 出荷より始まっている。9 月の初期生育で高温と乾燥の影響を受け、全体の生育が遅れている。よって平年よりも数量は減る見込み。出荷ピークは 5 月第 3 週の予定で、中心階級は M。
うめ	和歌山	わかやま (紀州・紀南)	今年は受粉が順調に進み着果量は多かったが、4 月前半に 3 回の降雹を受けて出荷量は平年比減・前年比増の予想。しかし前年より正品率は低くなる見込み。
	群馬	はぐくみ (はるな)	開花は平年よりも遅かったが、受粉期の好天を受けて着果量は平年以上、肥大スピードは低温もあって緩やか。4/14 の降雹で全体の 1 ～ 2 割に影響が出るが今後の生育次第。出回り初期は小玉が多いが、6 月上中旬のピークには肥大も追いつき、L･M 中心の出荷となろう。